

伝染病と闘う

人類の勝利第一号!

天然痘という伝染性の強い病気があります。古代からその存在が知られていて、紀元前12世紀に中国で流行したとか、二〇〇〇年前のインドにもあつたとか言われています。これが十字軍の遠征によって、全ヨーロッパに広がりました。

日本では、七三五年、九州の太宰府から流行が始まり、京にまで広まったことがあるようです。今では、ほとんど見かけることがなくなりましたが、これは一七九六年にジェンナーの発見した『種痘法』のおかげなのです。

「ジェンナー先生、この悪魔の病気を何とかして下さい!」 「このままでは、街中に広まって、滅びてしまいます。」 イギリスのバークレイの町で、医者として開業していたエドワード・ジェンナーは、天然痘の流

行に頭を悩ませていました。ところが、ある時、耳寄りな話を聞きました。牛乳しぼりの人達が、牛痘にかかると、その後は人痘にかからない…。ということだったので、慎重な観察と実験を重ねた結果、ジェンナーは、人体実験を行うことになりました。一七九六年五月一四日、ついに八歳の我が子フィップスに最初の予防接種を行いました。そして、二、三ヶ月後には、人痘を接種し、その安全性と効果を証明しました。

今日では、人痘を牛に接種し、これを人体へ接種する方法が採られています。

ジェンナーの種痘法の発見は、人工的に免疫を作ることを、世界に教えることになりました。そして、伝染病と闘う人類の輝かしい勝利の第一歩でもあつたわけです。

日本では、明治の初めにこの方法が輸入され、一八八五年には『種痘法』という法律が、一九一二年には『強制種痘法』という法律が制定され、か

つてのように大流行することはなくなりました。(ただし、種痘後の後遺症のリスクなどから、天然痘の撲滅が確認された一九七六年以降、日本では接種は行われていません。)

ジェンナーは、一八二三年、74歳でなくなりました。開業医としても評判が高かったようです。詩や音楽をこよなく愛し、ユーモアがあつて、誰からも親しまれる素敵なイギリスのジェントルマンだったそうです。

医学の進歩発達により、克服された病気は、その後、数知れずありますが、コロナ禍の現在、未だに克服できないでいる難病もありです。一九九二年に当時の日本の科学技術庁が発表した『今後の課題と実現予想時期』によると、エイズの治療法の確立が二〇〇六年、アルツハイマー型認知症予防法の確立が二〇一二年(残念ながら二〇二一年の現時点で未だに達成されていません)となつていま

来週の予定:6月28日(月)~7月2日(金)

期末考査に向けて、学習のまとめをしましょう。週の後半では、上級学校の先生をお招きして、学校の特色や学校生活についてお話しいたします。

Table with columns for date, day, and exam schedule. Includes dates 6/28, 29, 30, 7/1, 2 and subjects like 国語, 理科, 社会, 数学, 音楽, 英語, 美術, 技・家, 総合.